

2020年度 授業についての満足度調査

1.調査目的

- ①学科の取組について評価する
- ②授業で身につけるべき能力(2年：教育研究上の目的)(1年：学修成果)について
評価する
- ③学生自身の授業への取組みについて評価する
- ④学習成果がどの程度身についたか評価する

以上の①～④から、学生の授業への満足度を調査することにより、個々の項目を
精査し翌年度の授業改善の一助とする

2.実施期間

2020年2月中旬～2020年3月上旬

3.調査回答者数

保育学科回収率	1年生 91.0% (78人)	2年生 88.9% (82人)
ライフデザイン総合学科回収率	1年生 93.2% (74人)	2年生 93.5% (61人)

4.調査方法

多くのデータを回収するため無記名のアンケート用紙とし、実施はFD・SD委員
が担当

5.結果のデータ処理

従来の両学科同じ内容の設問項目ではなく、両学科それぞれの教育内容を意識した
質問項目を設定した

ただし、ライフデザイン総合学科設問項目 I 以外は“そう思う～そう思わないの”

5 段階評価とし、グラフ化した

アンケート用紙(原文) 保育学科 2年生用

短期大学 FD・SD 委員会

授業についての満足度調査(2020年度)

回答欄の〇を鉛筆やボールペンなどで塗りつぶしてください。[可:●、●/ 不可:○、○、○]

I 保育学科に関する各項目について、お答え下さい。

①:そう思う ②:ややそう思う ③:どちらともいえない ④:あまりそう思わない ⑤:そう思わない

1	「なわてジェンヌ」を目指し、教養、マナー等を身につけようと熱心に取り組んだ	(1) (2) (3) (4) (5)
2	「なわてジェンヌ」を目指した取り組みは、役立つことだと思う	(1) (2) (3) (4) (5)
3	保育技術を伸ばし、「保育のソムリエ」の称号を得るために熱心に取り組んだ	(1) (2) (3) (4) (5)
4	「保育のソムリエ」の称号を得ることは、役立つことだと思う	(1) (2) (3) (4) (5)
5	保育の座学の講義は、役に立つと思う	(1) (2) (3) (4) (5)
6	保育の演習・実技は、役に立つと思う	(1) (2) (3) (4) (5)
7	保育所や幼稚園、施設などでの実習は役に立つと思う	(1) (2) (3) (4) (5)

II 保育学科の教育目標に基づき、学生が各授業科目で身につけるべき能力(教育研究上の目的)について、お答え下さい。

①:そう思う ②:ややそう思う ③:どちらともいえない ④:あまりそう思わない ⑤:そう思わない

1	保育や幼児教育、福祉に関する知識を理解できた	(1) (2) (3) (4) (5)
2	保育における的確な実践力、判断力、コミュニケーション力を身につけることができた	(1) (2) (3) (4) (5)
3	子どもの表現、遊びに関する技能や表現を身につけ、援助の方法を習得できた	(1) (2) (3) (4) (5)
4	社会状況に関心を持ち、それに応じた保育の向上に努めることができた	(1) (2) (3) (4) (5)
5	保育の実践者としての自覚を持ち、人間的成長や向上に努めることができた	(1) (2) (3) (4) (5)
6	保育の近接領域を学び、保育周辺の資格の習得に努めることができた	(1) (2) (3) (4) (5)

III あなた自身の授業への取り組みについて、お答え下さい。

①:そう思う ②:ややそう思う ③:どちらともいえない ④:あまりそう思わない ⑤:そう思わない

1	授業には、欠席しないように心がけた	(1) (2) (3) (4) (5)
2	授業中の解らないことや不明な点について、積極的に質問した	(1) (2) (3) (4) (5)
3	授業中の居眠りや私語などはせず、授業に集中した	(1) (2) (3) (4) (5)
4	授業中の勉強環境(進度、教室、板書、視聴覚教材など)について、積極的に発言した	(1) (2) (3) (4) (5)
5	授業の予習・復習および課題には、真剣に取り組んだ	(1) (2) (3) (4) (5)

IV 本学での2(1)年間で、学習成果がどの程度身についたか、お答え下さい。

①:そう思う ②:ややそう思う ③:どちらともいえない ④:あまりそう思わない ⑤:そう思わない

1	報恩感謝の思いを持つことができましたか	(1) (2) (3) (4) (5)
2	教養や知性が身についたと思いますか	(1) (2) (3) (4) (5)
3	何事にも自主的、積極的に取り組めるようになったと思いますか	(1) (2) (3) (4) (5)
4	専門的能力(資格を含む)が身についたと思いますか	(1) (2) (3) (4) (5)
5	社会人力(コミュニケーション力、マナーなど)が身につき、人間的にも成長できたと思いますか	(1) (2) (3) (4) (5)



アンケート用紙(原文) 保育学科 1年生用

短期大学 FD・SD 委員会

授業についての満足度調査(2020年度)

回答欄の 〇 を鉛筆やボールペンなどで塗りつぶしてください。[可: ●, ○ / 不可: ✖, ☒, ⊖]

I 保育学科に関する各項目について、お答え下さい。

①: そう思う ②: ややそう思う ③: どちらともいえない ④: あまりそう思わない ⑤: そう思わない

1	「なわてジェンヌ」を目指し、教養、マナー等を身につけようと熱心に取り組んだ	(1) (2) (3) (4) (5)
2	「なわてジェンヌ」を目指した取り組みは、役立つことだと思う	(1) (2) (3) (4) (5)
3	保育技術を伸ばし、「保育のソムリエ」の称号を得るために熱心に取り組んだ	(1) (2) (3) (4) (5)
4	「保育のソムリエ」の称号を得ることは、役立つことだと思う	(1) (2) (3) (4) (5)
5	保育の座学の講義は、役に立つと思う	(1) (2) (3) (4) (5)
6	保育の演習・実技は、役に立つと思う	(1) (2) (3) (4) (5)
7	保育所や幼稚園、施設などでの実習は役に立つと思う	(1) (2) (3) (4) (5)

II 保育学科の教育目標に基づき、学生が各授業科目で身につけるべき能力(学修成果)について、お答え下さい。

①: そう思う ②: ややそう思う ③: どちらともいえない ④: あまりそう思わない ⑤: そう思わない

1	保育や幼児教育、福祉に関する成り立ちや制度、理念について理解している。	(1) (2) (3) (4) (5)
2	保育および幼児教育における的確な実践力、判断力、表現力を身につけている。	(1) (2) (3) (4) (5)
3	表現活動や遊びに関する技能を身につけ、子どもの情操を育む指導方法を習得している。	(1) (2) (3) (4) (5)
4	社会的課題解決のために、多様な人々と主体的に協働する態度およびコミュニケーション力を身につけている。	(1) (2) (3) (4) (5)
5	保育者、教育者の自覚を持ち、知識・教養を深め人間的成長や向上に努める態度を身につけている。	(1) (2) (3) (4) (5)

III あなた自身の授業への取り組みについて、お答え下さい。

①: そう思う ②: ややそう思う ③: どちらともいえない ④: あまりそう思わない ⑤: そう思わない

1	授業には、欠席しないように心がけた	(1) (2) (3) (4) (5)
2	授業中の解らないことや不明な点について、積極的に質問した	(1) (2) (3) (4) (5)
3	授業中の居眠りや私語などはせず、授業に集中した	(1) (2) (3) (4) (5)
4	授業中の勉学環境(進度、教室、板書、視聴覚教材など)について、積極的に発言した	(1) (2) (3) (4) (5)
5	授業の予習・復習および課題には、真剣に取り組んだ	(1) (2) (3) (4) (5)

IV 本学での2(1)年間で、学習成果がどの程度身についたか、お答え下さい。

①: そう思う ②: ややそう思う ③: どちらともいえない ④: あまりそう思わない ⑤: そう思わない

1	報恩感謝の思いを持つことができましたか	(1) (2) (3) (4) (5)
2	教養や知性が身についたと思いますか	(1) (2) (3) (4) (5)
3	何事にも自主的、積極的に取り組めるようになったと思いますか	(1) (2) (3) (4) (5)
4	専門的能力(資格を含む)が身についたと思いますか	(1) (2) (3) (4) (5)
5	社会人力(コミュニケーション力、マナーなど)が身につけ、人間的にも成長できたと思いますか	(1) (2) (3) (4) (5)



アンケート用紙(原文) ライフデザイン総合学科 2年生用

短期大学 FD・SD 委員会

授業についての満足度調査 (2020 年度)

回答欄の 〇 を鉛筆やボールペンなどで塗りつぶしてください。[可: ●, ● / 不可: ○, ○, ○]

I ライフデザイン総合学科のエリアについて、お答え下さい。(エリアを1つマークして下さい)

- ①: 心理・カウンセリング ②: ビジネス ③: IT ④: 食・健康、フード ⑤: 介護・福祉・高齢者
⑥: 医療事務

1	授業の内容が分かりやすかったエリア	(1) (2) (3) (4) (5) (6)
2	授業の内容に達成感や満足感を感じたエリア	(1) (2) (3) (4) (5) (6)
3	授業を受けることで資格の獲得につながったエリア	(1) (2) (3) (4) (5) (6)
4	授業を受けることで就職や就職活動に役立つエリア	(1) (2) (3) (4) (5) (6)
5	授業を受けることで学習への興味・関心が広がったエリア	(1) (2) (3) (4) (5) (6)
6	受講したい授業科目が多く開講されているエリア	(1) (2) (3) (4) (5) (6)
7	主体的に学習に取り組むことができたエリア	(1) (2) (3) (4) (5) (6)

II ライフデザイン総合学科の教育目標に基づき、学生が各授業科目で身につけるべき能力(教育研究上の目的)について、主に履修した科目からお答え下さい。

- ①: そう思う ②: ややそう思う ③: どちらともいえない ④: あまりそう思わない ⑤: そう思わない

1	幅広い人間性と教養を身につけることができた	(1) (2) (3) (4) (5)
2	将来の人生設計(ライフデザイン)につながった	(1) (2) (3) (4) (5)
3	仕事に関するイメージを描き、自分に適した仕事を見つけることができた	(1) (2) (3) (4) (5)
4	エリアの基礎的知識やスキルを身につけることができた	(1) (2) (3) (4) (5)
5	エリアの専門性を深めることができた	(1) (2) (3) (4) (5)

III あなた自身の授業への取り組みについて、お答え下さい。

- ①: そう思う ②: ややそう思う ③: どちらともいえない ④: あまりそう思わない ⑤: そう思わない

1	授業には、欠席しないように心がけた	(1) (2) (3) (4) (5)
2	授業中の解らないことや不明な点について、積極的に質問した	(1) (2) (3) (4) (5)
3	授業中の居眠りや私語などはせず、授業に集中した	(1) (2) (3) (4) (5)
4	授業中の勉強環境(進度、教室、板書、視聴覚教材)について、積極的に発言した	(1) (2) (3) (4) (5)
5	授業の予習・復習および課題には、積極的に取り組んだ	(1) (2) (3) (4) (5)

IV あなたは、本学での2(1)年間で、学習成果がどの程度身についたか、お答え下さい。

- ①: そう思う ②: ややそう思う ③: どちらともいえない ④: あまりそう思わない ⑤: そう思わない

1	報恩感謝の思いを持つことができましたか	(1) (2) (3) (4) (5)
2	教養や知性が身についたと思いますか	(1) (2) (3) (4) (5)
3	何事にも自主的、積極的に取り組めるようになったと思いますか	(1) (2) (3) (4) (5)
4	専門的能力(資格を含む)が身についたと思いますか	(1) (2) (3) (4) (5)
5	社会人力(コミュニケーション力、マナーなど)が身につく、人間的にも成長できたと思いますか	(1) (2) (3) (4) (5)



アンケート用紙(原文) ライフデザイン総合学科 1年生用

短期大学 FD・SD 委員会

授業についての満足度調査 (2020 年度)

回答欄の ○ を鉛筆やボールペンなどで塗りつぶしてください。[可: ●, ○ / 不可: ○, ×, ⊙, ⊗]

I ライフデザイン総合学科のエリアについて、お答え下さい。(エリアを1つマークして下さい)

- ①: 情報・IT・デザイン ②: ビジネス ③: IT ④: 食・健康、フード ⑤: 介護福祉、福祉サービス
⑥: 医療事務

1	授業の内容が分かりやすかったエリア	(1) (2) (3) (4) (5) (6)
2	授業の内容に達成感や満足感を感じたエリア	(1) (2) (3) (4) (5) (6)
3	授業を受けることで資格の獲得につながったエリア	(1) (2) (3) (4) (5) (6)
4	授業を受けることで就職や就職活動に役立つエリア	(1) (2) (3) (4) (5) (6)
5	授業を受けることで学習への興味・関心が広がったエリア	(1) (2) (3) (4) (5) (6)
6	受講したい授業科目が多く開講されているエリア	(1) (2) (3) (4) (5) (6)
7	主体的に学習に取り組むことができたエリア	(1) (2) (3) (4) (5) (6)

II ライフデザイン総合学科の教育目標に基づき、学生が各授業科目で身につけるべき能力(学修成果)について、主に履修した科目からお答え下さい。

- ①: そう思う ②: ややそう思う ③: どちらともいえない ④: あまりそう思わない ⑤: そう思わない

1	社会で必要となる基礎的な知識や教養、礼儀を身につけている。	(1) (2) (3) (4) (5)
2	各エリアの専門的な学びを通して、社会で活躍できる知識・技能を身につけている。	(1) (2) (3) (4) (5)
3	各エリアの専門的な学びを通して、社会において自ら課題を発見し解決に取り組み成果を表現するための思考力、判断力、表現力を身につけている。	(1) (2) (3) (4) (5)
4	各エリアの専門的な学びを通して、社会において他者を認め、積極的にコミュニケーションを図り連携するための主体性・多様性・協働性を身につけている。	(1) (2) (3) (4) (5)
5	生涯を通じて向上心と探求心を持ち、自己のライフデザイン(人生設計)を描き続ける能力を身につけている。	(1) (2) (3) (4) (5)

III あなた自身の授業への取り組みについて、お答え下さい。

- ①: そう思う ②: ややそう思う ③: どちらともいえない ④: あまりそう思わない ⑤: そう思わない

1	授業には、欠席しないように心がけた	(1) (2) (3) (4) (5)
2	授業中の解らないことや不明な点について、積極的に質問した	(1) (2) (3) (4) (5)
3	授業中の居眠りや私語などはせず、授業に集中した	(1) (2) (3) (4) (5)
4	授業中の他学環境(進度、教室、板書、視聴覚教材)について、積極的に発言した	(1) (2) (3) (4) (5)
5	授業の予習・復習および課題には、積極的に取り組んだ	(1) (2) (3) (4) (5)

IV あなたは、本学での2(1)年間で、学習成果がどの程度身についたか、お答え下さい。

- ①: そう思う ②: ややそう思う ③: どちらともいえない ④: あまりそう思わない ⑤: そう思わない

1	報恩感謝の思いを持つことができましたか	(1) (2) (3) (4) (5)
2	教養や知性が身についたと思いますか	(1) (2) (3) (4) (5)
3	何事にも自主的、積極的に取り組めるようになったと思いますか	(1) (2) (3) (4) (5)
4	専門的能力(資格を含む)が身についたと思いますか	(1) (2) (3) (4) (5)
5	社会人力(コミュニケーション力、マナーなど)が身につき、人間的にも成長できたと思いますか	(1) (2) (3) (4) (5)

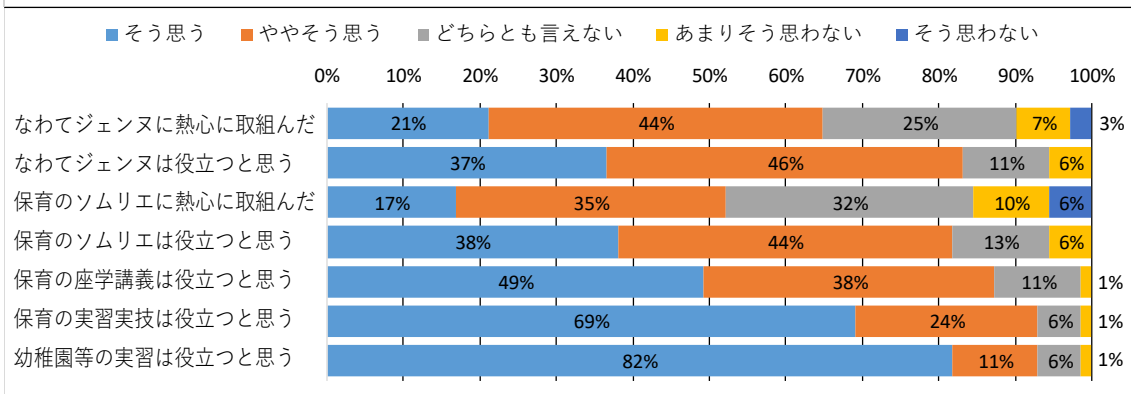


各学科 調査結果

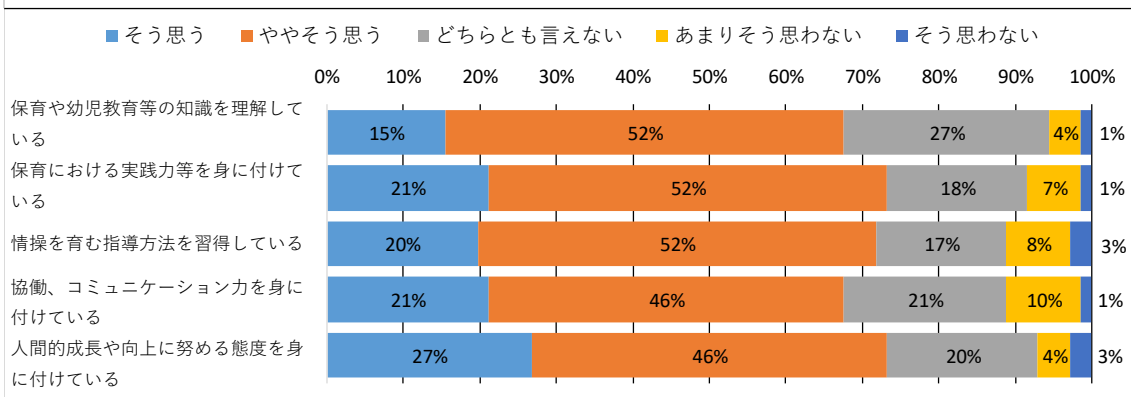
2020年度 授業についての満足度調査 保育学科1年生 回答結果

回答率 91.0%

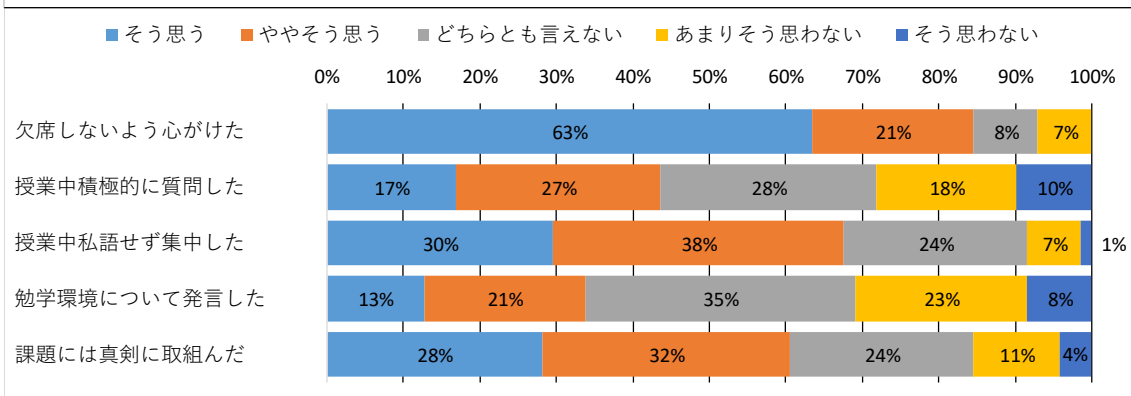
設問Ⅰ 保育学科に関する項目について



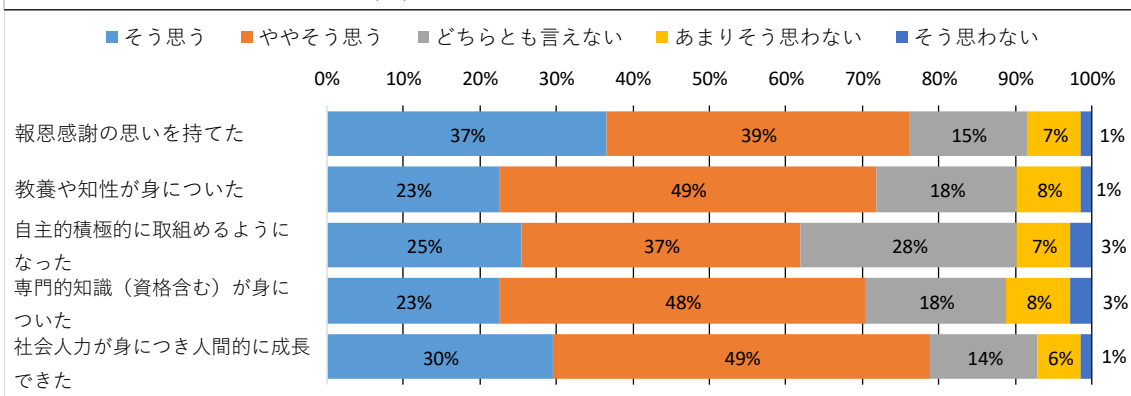
設問Ⅱ 保育学科の教育目標に基づき、学生が各授業科目で身に付けるべき能力について



設問Ⅲ あなた自身の授業へのとりくみについて



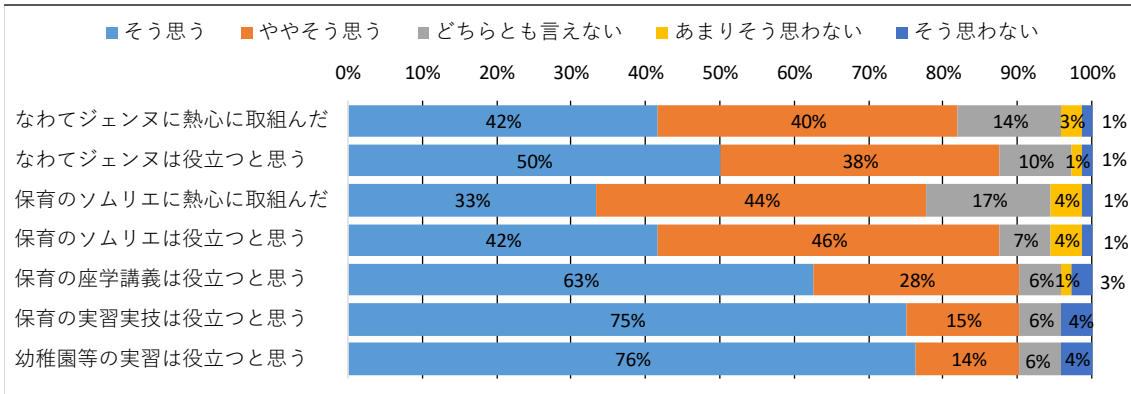
設問Ⅳ あなたは、本学での2（1）年間で、学習成果がどの程度身についたか



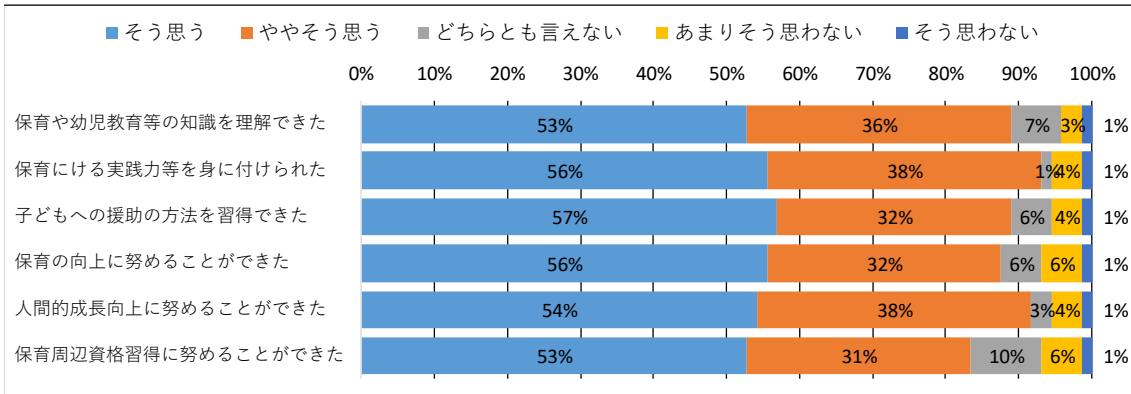
2020年度 授業についての満足度調査 保育学科2年生 回答結果

回答率 88.9%

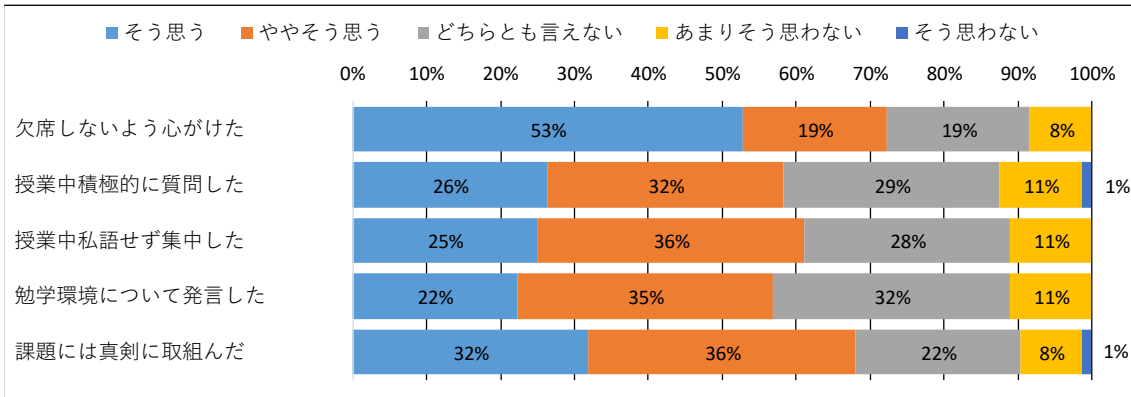
設問Ⅰ 保育学科に関する項目について



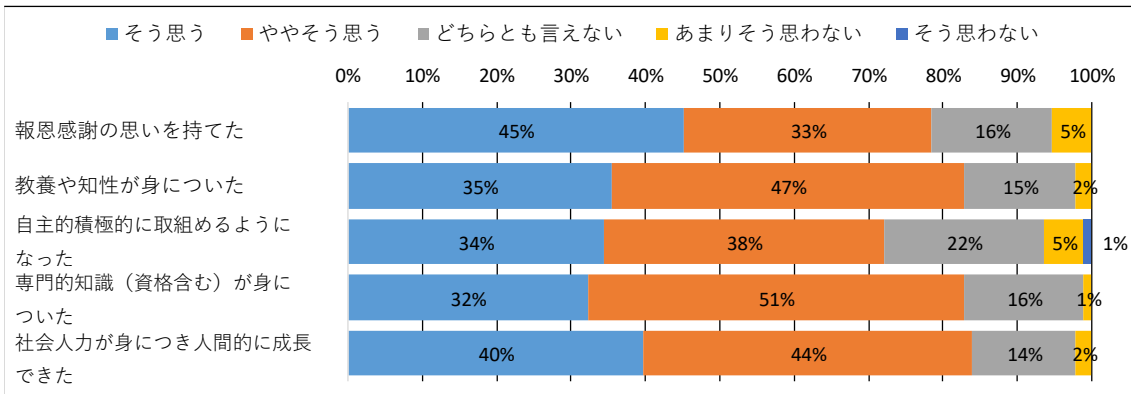
設問Ⅱ 保育学科の教育目標に基づき、学生が各授業科目で身に付けるべき能力について



設問Ⅲ あなた自身の授業へのとりくみについて



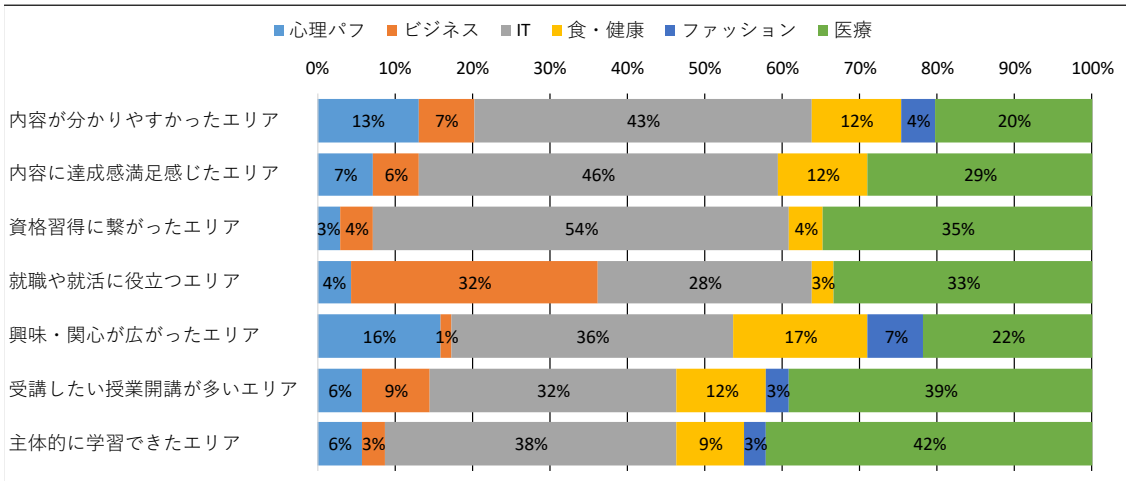
設問Ⅳ あなたは、本学での2（1）年間で、学習成果がどの程度身についたか



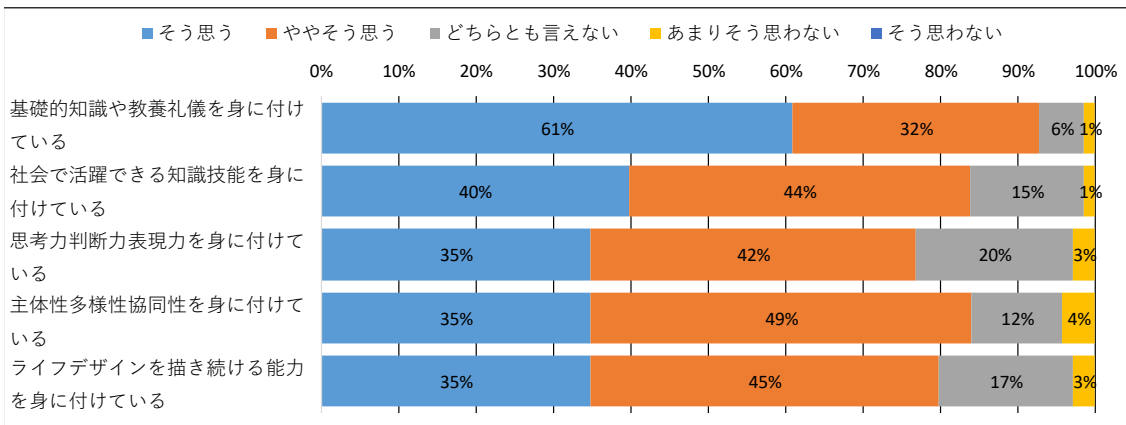
2020年度 授業についての満足度調査 ライフデザイン総合学科1年生 回答結果

回答率 93.2%

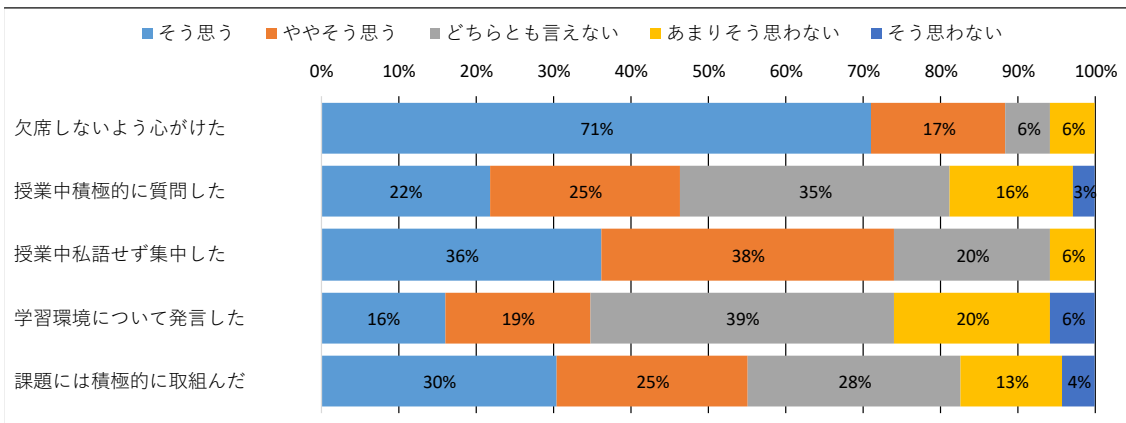
設問Ⅰ ライフデザイン総合学科のエリアについて



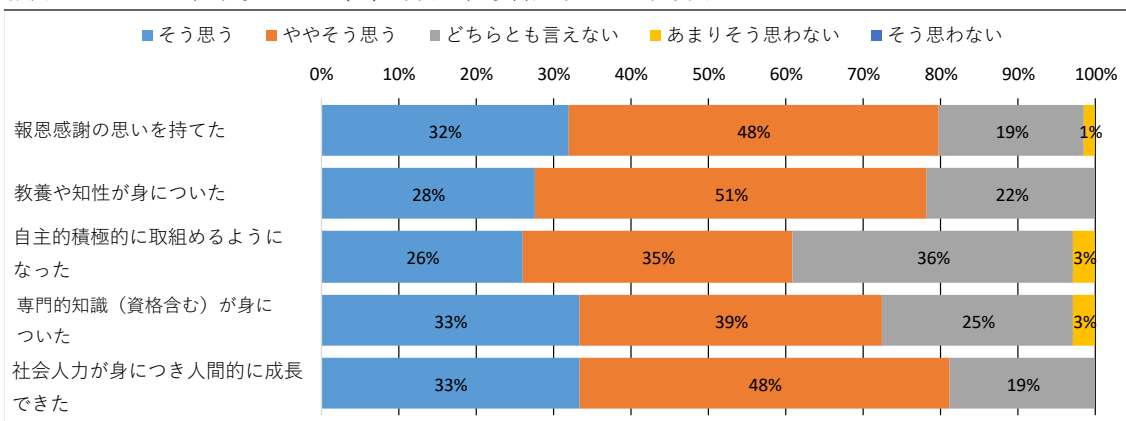
設問Ⅱ ライフデザイン総合学科の教育目標に基づき学生が各授業科目で身に付けるべき能力について



設問Ⅲ あなた自身の授業へのとりくみについて



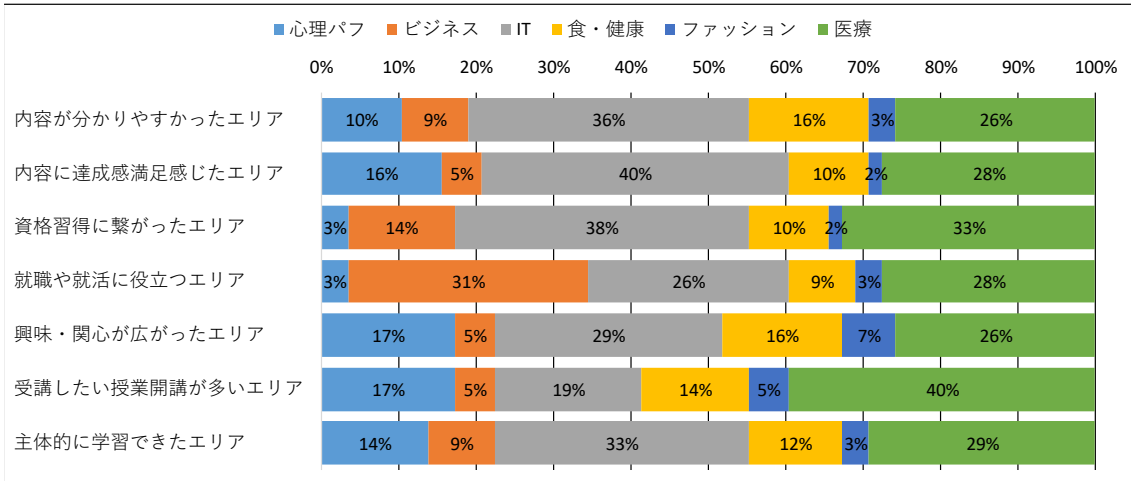
設問Ⅳ あなたは、本学での2(1)年間で、学習成果がどの程度身についたか



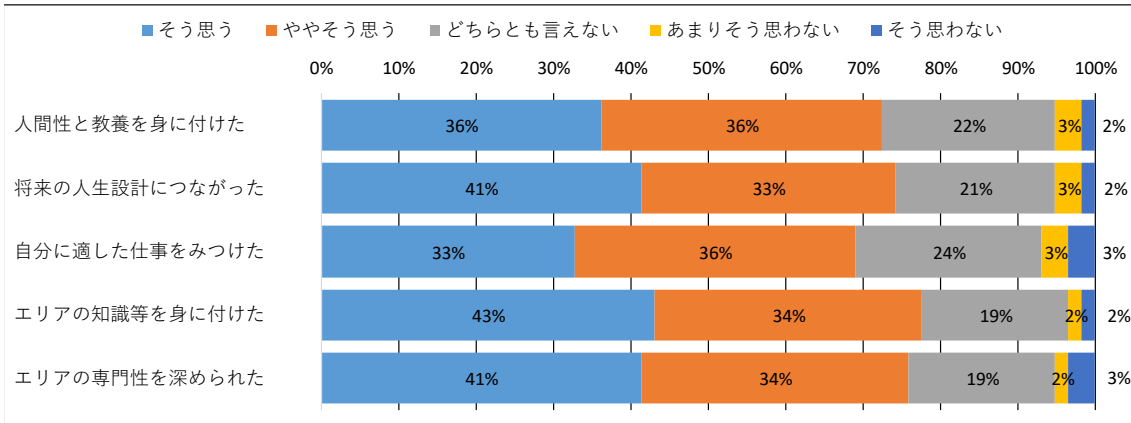
2020年度 授業についての満足度調査 ライフデザイン総合学科2年生 回答結果

回答率 93.5%

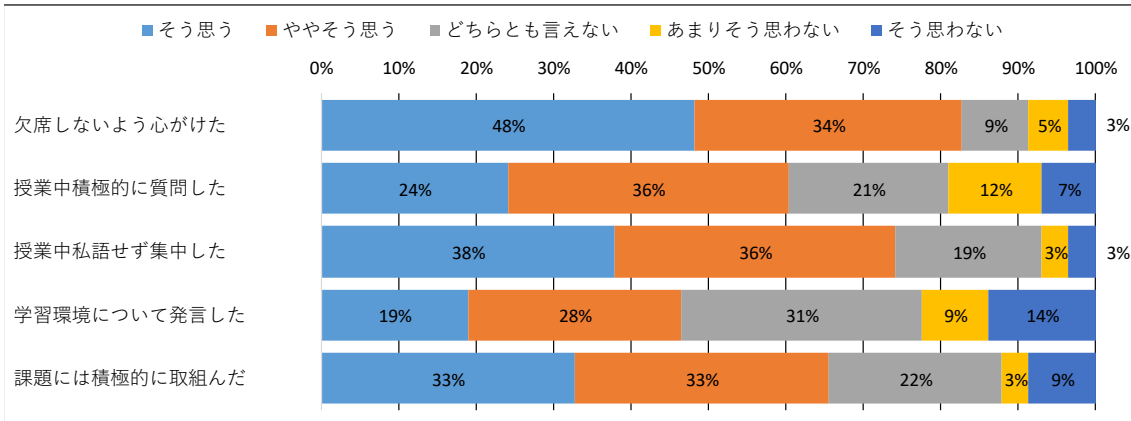
設問Ⅰ ライフデザイン総合学科のエリアについて



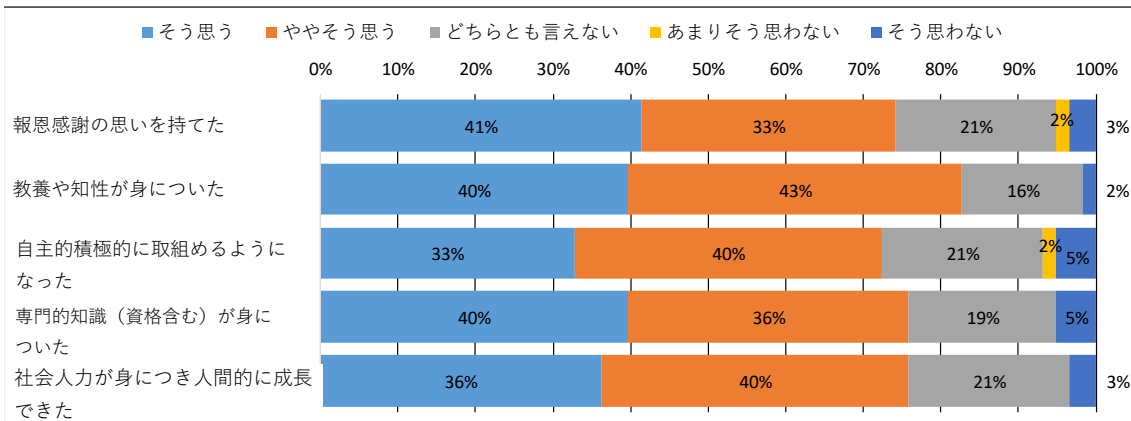
設問Ⅱ ライフデザイン総合学科の教育目標に基づき学生が各授業科目で身に付けるべき能力について



設問Ⅲ あなた自身の授業へのとりくみについて



設問Ⅳ あなたは、本学での2（1）年間で、学習成果がどの程度身についたか



各学科長 調査結果コメント

2020 年度授業についての満足度調査（FD・SD委員会）

保育学科調査結果コメント（学科長：合田 誠）

設問項目Ⅰ 保育学科に関する項目について

今年度の全体的な傾向は昨年度と同様に1・2年生で、相違が見受けられる。

保育学科が取り組んでいるオリジナル目標の「なわてジェンヌ」については、「熱心に取り組んだ」及び「役立つと思う」の項目で、2年生が「そう思う」、「ややそう思う」と回答しているのが全体の82%に対して、1年生は65%と17ポイントも低い。この差異の理由としては考えられるのは、今年度教育環境に多大なる影響をもたらせた「新型コロナウイルス感染症」があげられる。2年生が高ポイントとなるのは昨年度入学し、1年間をかけて「なわてジェンヌ」ノートをベースに担任とのやり取りを継続してきた証といえるのではないか。一方、1年生は、新入生ガイダンス時に「なわてジェンヌ」の説明やノートを手渡したのみで、担任とのやり取りもオンライン授業中心に展開されたので、十分なやり取りが出来ず、ジェンヌ意識も醸成しなかったといえる。しかしながら、1年生の意識としては「なわてジェンヌ」は「役に立つ」との認識があるために、その評価が83%（2年生：88%）に上がることからも分かるように、今年度は熱心に取り組むことが出来なかったのはその機会が失われていたからだといえる。

次に「保育のソムリエ」に関しては、「なわてジェンヌ」の傾向とほぼ同様に「熱心に取り組んだか」の問いについて2年生は「そう思う」、「ややそう思う」の合計は77%であるのに対して1年生は52%と20ポイント以上の差異が認められる。これは前述した様に、2年生は昨年度「保育のソムリエ」を各自で取り組んできた「基礎」があるため、今年度はコロナ禍により実行が不十分であったにもかかわらず、家庭等でリカバーするために実践したのではないかと推察され、高い数値に至ったと考えられる。1年生は「保育のソムリエ」に関する十分な説明を聞けていない、加えて実践する機会がなかったために、数値が低かったと考えられる。「保育のソムリエ」の必要性は「なわてジェンヌ」と同様に1・2年生共に82%、88%と高い値となっている。

「なわてジェンヌ」、「保育のソムリエ」に関しては本学独自の取り組みであるので、引き続き、次年度以降も取り組んでいきたい。

学習形態に関する設問は、1・2年生とも「実習」に関しては90%以上の学生がその必要性を痛感している。学内学習よりも高い数値を示すのは、学内での学び以上に保育・教育現場での実践学習の効果が高い証となる。反面、学内学習の中で「座学」の「必要性」は1・2年生ともに「実習」と比較して減少している。実習内容をさらに高めるためにも、専門知識を修得する「座学」が必要であるのはいうまでもないが、われわれ教員には学生がその認識を高めることのできる授業改善は不可欠である。

設問項目Ⅱ 各科目で身に付けるべき能力について

各項目については、1・2年生の結果に差が認められる。2年生は各項目全てに「そう思う」、「ややそう思う」を合計した数値が9割前後になっている。しかしながら、1年生は、同様の合計が7割前後と20ポイント以上の差異がみられた。なぜ、この開きが出てきたかを推察すると、やはり新型コロナウイルス感染防止のために授業形態をオンライン授業にした影響は否めないと思われる。保育者にとって身に付けるべき「知識」、「実践力（技術）」、「コミュニケーション能力」などがオンライン授業では“身に付けることができた”という実感がもてないということであろう。2年生に関しては授業形態がオンラインであったにもかかわらず高い数値を示しているのは、1年生での学内・学外学習のベースがあるため、オンライン授業であっても、学習内容をイメージしながら学ぶことができた証ともいえるのではないか。

数値的には1年生は2年生と比べて満足度は低いが、少なくとも「実践力」と「人間的成長」については他項目よりも若干数値が高かったのは、学内授業はオンライン授業であったが、保育所、施設、幼稚園実習は、コロナ禍であっても何とかこなせたため、その裏打ちがこの数値に反映しているかも知れない。

設問項目Ⅲ 授業への取り組みについて

まず、全体的に授業への取り組みについて1・2年生について項目によっては差異が認められる。1・2年生が一致して高い数値を示したのは「欠席しないように心がけた」である。さらに、2年生は「そう思う」、「ややそう思う」を合計すれば72%であるのが、1年生は84%と10ポイント以上高い。授業課題が未提出は「欠席」となり、欠席が重なれば「失格」に繋がる意識が認知されていたのではないかと思われる。逆に1年生の結果で気になるのは、「質問」と「勉学環境」についての発言ができなかった（「余りそう思わない」と「そう思わない」の合計）が3割前後に上り、およそ3人にひとりが分からないまま、不明点を放置していたり、ネット環境が芳しくないことを学校側に伝え切れていなかったりした点が大きな反省点として特筆される。今後、オンライン授業を実施する場合の最重要課題となる。さらに、1年生では「課題」に対する取り組みで1割の学生が真剣に取り組めていないと評価している。この点も恐らくオンライン授業で学習内容が不明なままにしていることに連関することと考えられる。ただ、1・2年生が共通して「授業に集中した」数値は6割となっており、家庭内で周辺に邪魔されることなくオンライン授業に集中できたプラス面での学生もあったことに留意すべきである。

設問項目Ⅳ 学習成果について

例年のように1・2年生とも学習成果に関してすべての設問は高い率を示している。特に2年生に関しては全設問の8割前後が「そう思う」、「ややそう思う」を選択している。もっとも数値的に高いのが「人間的に成長できた」(84%)である。次いで「専門的知識が身についた」(83%)「教養や知性が身についた」(82%)の順である。今年度はコロナ禍であるにもかかわらず短期間の中で取り組んだ学内学習と学外実習を乗り越えることで、個々の学生が身に付けた学習成果が高数値を示したのは安堵した。

ただ、本学の「建学の精神」である「報恩感謝」については他項目と比較し、「そう思う」、「ややそう思う」を選択した学生は1年生で76%、2年生で78%となっており、今後の取り組むべき課題のひとつにあげられる。

さらには、1・2年生共通して、最も低位の項目は「自主的」、「積極的」に取り組めたかどうかの設問の結果は、1年生は「そう思う」、「ややそう思う」の合計は62%、2年生は72%となっている。文科相が提唱する「何を教えてか」から「何を学び、身に付けることができたのか」への転換、つまり、「主体的・対話的で深い学びを考える」教育を教員側が意図的に展開しなければならない最重要課題である。

2020 年度授業についての満足度調査（FD・SD委員会）

ライフデザイン総合学科調査結果コメント（学科長：工藤真由美）

設問項目Ⅰ ライフデザイン総合学科のエリアについて

ライフデザイン総合学科には 6 つのエリアが存在し、学生は自由にどのエリアからも授業科目を選択し受講できる。それぞれのエリアには、授業を通して取得できる資格や称号があり、中には支援講座となっている科目もある。学生は将来の進路の選択とも照合し、資格・称号取得など、バランスよい視点で受講科目を選択するよう期初の教務ガイダンスを受け、履修登録を行う。また、将来の進路や取得希望の資格・称号が未定の学生も現在の興味に従い、受講を決定していく。ゆえに学生によって、1 つのエリアの科目を集中的に履修する場合や、柱となるエリアを決め、関連すると思われるエリアから周辺的な科目を履修する場合、さらには、6 エリアにバランスよく履修し自己の興味や適性などを見極めようとする場合など、様々なエリア配分で履修している。そのため、もともと受講者が少ないファッションビジネスエリアは、毎年どの項目でもポイントが低い傾向にあり、今年度も 1、2 年生ともに同様に 2～7%にとどまった。

すべての質問の上位 2 つを占めるエリアは、1、2 年生ともに同じエリアである。内容がわかりやすいエリア、内容に達成感満足感したエリア、資格取得に繋がったエリア、興味関心が広がったエリア、受講したい授業開講が多いエリア、主体的に学習できたエリア、これらの 6 つの質問に対する回答は、いずれも IT エリアと医療事務エリアが上位を二分している。もう一つの就職や就活に役立つエリアはどれかの質問には、ビジネスエリアと医療事務エリアが挙げられ、僅差で IT エリアが続く。これらは 1、2 年生に共通であると同時に、年度による変化はほとんどない。

しかしながら、今年度はコロナ禍により、ほとんどの授業がオンラインで実施することになったが、IT エリアの科目、医療事務エリアの一部のパソコンを使用する科目は、対面での授業を前期も後期も実施した。特に 1 年生では、IT エリアが、内容がわかりやすかったエリア 43%、内容に達成感満足感したエリア 46%、資格取得に繋がったエリア 54%と、2 位以下を大きく引き離して選ばれた。この傾向は 2 年生ではさらに顕著で、IT エリアが就職や就活に役立つエリア、受講したい授業開講が多いエリアを除いて、1 位を占めている。しかしながら 2 年生はほぼ自分の将来の進路に係る中心的なエリアを絞り込んでおり、受講したい授業開講が多いエリアの 1 位は、医療事務エリアで 40%であり、2 位の IT エリアとは 20%以上の差がある。またそれぞれの質問に対しての選択 1 位の IT エリアと、2 位の医療事務エリアのポイント差は、1 年生よりも小さく 5%から 10%程度の差であった。また、1、2 年生ともに興味関心が広がったエリアとして、ファッションビジネスエリアを 7%の学生が選択し、2 年生では就職や就活に役立つエリアとして 3%の学生が選択していることは、ファッション関係の学びに興味を示し授業を選択し、自らの世界を広げた学生が一定数存在し、進路選択に繋がっていることをうかがわせる。

設問項目Ⅱ ライフデザイン総合学科の教育目標に基づき学生が各授業科目で身に着けるべき能力について

教育目標については今年度、1年生に新たな教育目標を導入したため、1、2年生で質問項目が異なる。2年生は人間性と教養を身に着けた、将来の人生設計につながった、エリアの知識等を身に着けた、エリアの専門性を深められた、これらの質問に対して、そう思う、ややそう思うが併せて72%から78%の高い数値を示している。自分に適した仕事を見つけた、に対しても69%がそう思う、ややそう思うと回答している。どちらともいえないが24%で、第一希望でない就職先に内定したのかもしれない。ただし、去年はそう思う、ややそう思う、の合計が44%にとどまっていたことからすると、今年の2年生はコロナ禍の厳しい就職状況の中でも、希望をかなえた学生が増加したのではないかと考えられる。しかしながら、すべての項目で、そう思わないと答えた割合が2%から3%存在することは、今後学生の満足度を見る上で注視していかねばならない。

1年生は基礎的知識や教養礼儀を身に着けている、社会で活躍できる知識技能を身に着けている、思考力判断力表現力を身に着けている、主体性多様性協働性を身に着けている、ライフデザインを描き続ける能力を身に着けている、いずれにおいてもそう思う、ややそう思う、の合計が、77%から93%と高い数値である。ほかの項目は、そう思うよりもややそう思うの数値が上回っているが、唯一、基礎的知識や教養礼儀を身に着けているの項目はそう思うが、61%、ややそう思うが32%とほとんどの学生が自信をもって評価していることがうかがえる。特に入学直後から礼儀マナー教育に力を注いでいるため、この数字は大変喜ばしいと思う。

設問項目Ⅲ あなた自身の授業への取り組みについて

1、2年生とも同じような回答の傾向であった。オンライン授業という環境下で、授業中積極的に質問した、授業中私語せず集中した、課題には積極的に取り組んだ、いずれもそう思う、ややそう思う、どちらとも言えない、がほぼ均等な割合、30%程度ずつ選択されていた。

しかし学習環境について積極的に発言した、の項目ではどちらとも言えないの割合が増加している。また欠席しないように心がけた、の項目では、非常に高い割合で、そう思う、ややそう思うが選択された。オンライン授業の出席は課題の提出をもって出席とするというルールであったが、2年生のそう思う、49%、ややそう思う、35%、合計83%、1年生のそう思うは71%、ややそう思うが17%、合計88%ととても高い値を示した。反対に、それぞれの質問項目に対してあまりそう思わない、そう思わないと答えた割合が、数%おり、特に2年生では10%から20%おり、特に学習環境についての発言においては23%が発言しなかったことになる。学生にはQ&Aを利用し質問するように促したが、オンライン授業の不自由さが数字に表れたと考えられる。

設問項目IV あなたは本学での2（1）年間で、学修成果がどの程度身についたか。

そう思う、ややそう思うという積極的回答についてみると、報恩感謝の思いを持てた、の項目は、1年生が80%、2年生が74%、教養や知性が身についた、の項目では、1年生が79%、2年生が83%であった。また、自主的積極的に取り組めるようになったが、1年生で61%、2年生で72%と1年生が受け身な姿勢がみられる。専門的知識（資格含む）が身についた、の項目では、1年生が72%、2年生が76%と同じような傾向であった。社会人力が身につき人間的に成長できたについては、1年生が81%、2年生が76%であった。1年生はすべての項目で、そう思わない、を選択した学生がおらず、2年生ではすべての項目でそう思わない、を選んだ学生が2%から5%いた。現在の1年生の満足度が2年生の卒業時に継続しさらに高められるよう、工夫する必要がある。